

自然学校を実施しました（5年生）

NO.3

『聞き方』が上手になりました

自然学校の活動を通じて、いろいろな人から、話の聞き方について教えていただきました。その度に、子どもたちが意識を高くもち、話を聞けるようになってきました。

大事な話を聞くときは、前を向き、物（草）を触らないようにしましょう。
楽しく過ごすには、ルールがあります。しっかり話を聞いてください。

話を聞くときは、話し手以外は、しゃべらないようにしましょう！指示や説明が聞こえないからです。



折り合いをつける

『時間を守る』には、自分の中で折り合いをつけることが大切です。見通しをもち、優先順位を考え、今何をすべきかを考えること（自分に折り合いをつける）で、時間は守れるということを子どもたちは体験しました。

特に、3日目の朝は、大忙しです。身支度、布団やシーツの片づけや荷物の整理、部屋の掃除等、限られた時間の中で考えて行動しなければなりません。

6：30に起床、7：00に朝の集い、8：00から朝食（カートンドッグ作り）と、スケジュールを念頭に、「今は、これを優先し、～は後でもできる」と考えながら行動しました。5年生なりの自立や友だちと協力することができたと思います。

カートンドッグ作りをしました

自然学校3日目の朝食は、カートンドッグです。自分のカートンドッグは自分で作りました。作り方から片づけ方までしっかりと話を聞いて活動ができました。



みんなで協力しながら、カートンドッグ作りができました。



カートドッグ作りの後、子どもたちがある実験（試行）を行いました

屋外でカートドッグ作りをした後、片付けが終わった班から大広間に帰ってきました。

「早く戻ってきた班から静かに整列して待っていると、後から部屋に入ってきた人たちは、どんな行動をとるでしょうか。」を、試してみたようです。

すると、後から部屋に入ってきた人は、入口の所で一旦止まり、その後は、静かに班ごとに並んでいったそうです。

つまり、**動きには流れがある**ということがわかったそうです。いい流れもあれば悪い流れもあります。

いい流れの先頭がいると、そこにはいい行動が生まれてくるということがわかりました。

これからの生活にも生かせそうですね。



自然学校から学んだこと

2泊3日の自然学校で、5年生の子どもたちは、どんなことを学んだでしょうか。一人一人のふり返りがとても楽しみです。

自然学校は、いろいろな活動を通じて学びがあるように計画されています。個人的な楽しみではなく、集団としてお互いに協力する中で成し遂げた達成感が味わえるようにプログラムが組まれています。

今回の自然学校では、**自然を大切にすること**や**仲間と協力すること**に力を入れました。もちろん、自分の身の回りのことは自分ですという**自立は前提**です。ふだん、お家の人にたくさん支えられて生活していたことを実感した3日間でもあったと思います。仲間に、家族に、そして、自分に関わってくださる全ての方に**感謝の気持ち**が持てた**3日間になったのではない**でしょうか。

いろいろな活動の中で、失敗したこともありました。**失敗してもいいのです。失敗した後の行動が大事です。**それを学べた3日間であったと思います。

「**ひとりみんなのために みんなはひとりのために**」という言葉があります。お互いを大事にしなが、みんなが気持ちよく過ごすことを学べました。

たった3日でしたが、この3日で、5年生の行動意識が変わりました。特に、**集合の仕方や話の聞き方がよくなりました**。自分のことだけでなく、**周りにいる人のことも考えた行動がとれました**。本音で話げできた3日間でもありました。



自然学校を通じて、子どもたちは大きく成長しています。自然学校で学んできたことをこれからの生活に、ぜひ生かしてほしいと思います。